



## 1. 体育祭



今年度の体育祭テーマである「全身全霊」で全員が取り組んだ体育祭となりました。今学期が始まってから連日体育委員会を開き、種目決め、ルール決めを行い、当日の運営も体育委員が行いました。体育委員長の開会宣言から始まり、途中、教員たちも参加する種目などもあり白熱した体育祭となりました。

今年度は Covid-19 の制限も撤廃され、保護者の方々にも来校いただき、リレーなどに参加いただくことができ、学校関係者全員で作上げた体育祭になったと思います。学園伝統の学年創作ダンスでは各学年の特色が見られ、今年度も素晴らしいダンスを発表してくれました。

体育祭で新たにできた絆が、これからの学校生活につながってくれることを期待しています。



## 2. Platinum Jubilee

今年 2022 年は、エリザベス女王の在位 70 周年という、イギリスにとって大変特別な年です。

これを記念し(英語では The Queen's Platinum Jubilee といいます)、6 月 2 日(木)から 5 日(日)にイギリス各地では様々な祝賀行事が行われました。学園でもこの特別な年にイギリスにいることを皆さんで分かち合いたいと思い、学園マナーハウス正面の広場にテントを建て、イギリス式お茶会を行いました。イギリスのお茶会に外せないのが、おいしい紅茶(大抵はミルクティー)とたっぷりのクリームをつけたスコーン。こういったお茶タイムは Cream Tea と呼ばれ、イギリス人の日常に欠かせないものとなっています。

当日は天気にも恵まれ、爽やかな緑の木々の下、沢山の生徒と職員でスコーンやお菓子の乗ったテーブルを囲み、お茶を飲みながら大変楽しい時間を過ごすことができました。



### 3. ホームステイレポート



Teikyo school has restarted its weekend homestay program, which we are hoping to do two or three times per term. The weekend homestay is a great opportunity for students to meet local people, practise their English, and experience UK family life.

Here is what 2 of our students had to say about their homestays:

#### KO3

週末ホームステイに行き沢山の経験をしました。最初は現地の人と関われるいい機会だと思い軽い気持ちで参加しましたが、当日はとても不安でした。なぜなら、いつも外出するときは親が英語の対応をしてくれ、私は何もしなくても困らない状況にあり、自分一人で外国人と話す機会が極めて少なかったからです。しかしホストファミリーは外国人である私を暖かく迎え入れてくれました。私が辿々しい英語を話しても最後まで話を聞いてくれて、私の人見知りな性格にも関わらず、沢山話しかけてくれたこと自体が嬉しく、楽しい二日間を過ごしました。土曜日と日曜日はいいい天候に恵まれ外出をしました。現地の人だから知る、私の知らないイギリスを体験できて、ただ観光に行くのとは全く異なり、同じ場所を訪れたはずなのに全く違う経験ができました。



ホストファミリーとは良好な関係を築くことができ、今でも連絡を取り合っています。今回のホームステイを通して現地の人と話す英語は、英検リスニングとは全く別物で、自分の英語力がいかに使えないものかわかったので、もっと英語力を伸ばしていきたいです。

#### KO1

2回目のホームステイだったので不安はそんなになかったけれど、実際に行ってみるとやはり少し大変でした。小さい子どもが2人いたのですが、私は小さい子どもにあまり慣れていないので対応が難しかったです。しかしYouTubeや映画を一緒に見ようと誘ってくれて嬉しかったです。

英国で人気なYouTuberと一緒に見たのですが、私はその人達を知らなかったなのでそこで話を広げることができました。家族全員で大きい公園に行って、ピクニックと散歩をしたり、家の庭でお昼を食べたり、犬といっぱい遊んだり、とても充実した休日を過ごせました。また、子どもの習い事にも連れて行ってきて、そこにいた子ども達とお母さん達とも話すことができました。

人数が多い時に話題を振るのは得意ではないので、ホストファミリーの誰かと2人の時にたくさん話しかけ仲を深めました。私が困っていたらホストファザーが積極的に話しかけてくれて居心地が良かったです。次回もホームステイしたいと思えるような家族でした。



#### 4. フォトコンテスト

広報委員会の取り組みとして、5月初めに行われた研修旅行（1年生：ブライトン、2，3年生イングランド北部およびスコットランド）で撮影された写真のフォトコンテストを実施しました。

「光」のテーマのもと、生徒達から多くの作品が集まり、最終的に投票の結果金賞2作品、銅賞3作品が決定しました。どの作品も本当に素晴らしく、皆投票するのに苦労をしている様子でした。引き続き英国の美しい風景をカメラと心の中に収めていきたいと思えます。



研修旅行  
フォトコンテスト  
結果  
テーマ「光」



#### 5. 生徒総会

5月30日にシアター3に全校生徒が集まり、生徒会主催の生徒総会が行われました。コロナ禍で過去2年間実施出来なかったため、3年生にとっても初めての総会でした。

各学年代議員、各委員会委員長からの報告などが行われました。

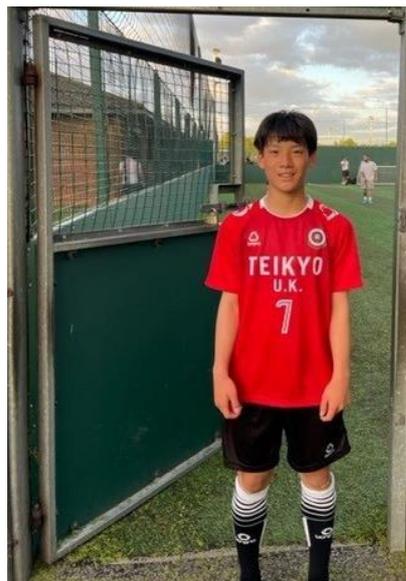
生徒会の皆様、お疲れ様でした。



## 6. 各コースより

### ・サッカーコース

イギリスはサッカーオフシーズンに入ったことで、FAB の活動も一旦ストップとなり帝京ロンドン生のみで活動しています。その期間を利用して、5 a side というフットサルに似た競技のリーグに参加しています。社会人との試合になりますので、フィジカルも強く激しい試合を戦っていますが、技術の高さやチームワークを最大限に発揮し、現在 8 チーム中 3 位となっています。対戦チームからは、「すごくうまい。うますぎて対戦したくない」など言われるぐらい怖いチームとなっているようです。毎週試合がありますので、日々の練習の成果を少しでも実践に活かせるようになればと思っています。また勝利試合には、選手たち同士で MOM(Man of the match)を選出しているのも、生徒のモチベーションのひとつとなっているようです。



### ・アートコース

ISCA のアート&デザインの授業では、高 3 は coursework「Inside Outside」をテーマに絵の具やパステル、など様々な技法研究を試しています。



高1は、「色相環」と「混色」について学習したあと、ジョージア・オキーフという女性作家の絵を参考に、色の勉強をさらに深めるために、模写をおこないました。久しぶりに使う絵の具と混色に苦戦していましたが、時間をかけてじっくり取り組むことができました。



水曜クラスの高1は、円柱（トイレットペーパー）を完成させ、3つの異なるモチーフを組み合わせた鉛筆デッサン（静物画）に挑戦しています。月曜クラスでは、高3生は、黒い墨の濃淡をつかって、植物や生き物を白と黒だけで表現する世界を楽しんでいました。



## 7. 寮便り

中間考査前は、自主学習も含め、各自の部屋で考査に向けて集中して取り組む姿が見られました。そして考査後一息ついたところで、体育祭や Japanese Day に向けての準備に移行しました。6月4日の寮企画では、希望した生徒たちがウィンザーパークに出かけました。たくさんのユニオンジャックに飾られた街並みで異国の文化に接することができ、楽しむことができました。また男子寮に新しいコモンルームができ、週末は自分たちで作った昼食を食べたり、ゲームを楽しんだりしています。（岩泉）



～ ポーラ新寮監長(兼学園看護師)よりご挨拶 ～

この場をお借りして、帝京ロンドン学園の新しい寮監長として、自己紹介をさせていただきます。この度、寮監長というまたとない機会を与えられたことを嬉しく思っており、お子さまの寮生活をより充実したものにするために、ワクワクするような改革を行っていきたくと思っています。私は子供時代に合計8年間日本で過ごしました。幼い頃は東京の表参道に住んでプリティッシュ・インターナショナル・スクールに通い、思春期には、横浜の桜木町に住んでインターナショナル・スクールに通いました。その後、両親が横浜に住んでいる間、スコットランドのボーディングスクールに通いました。この経験によって、日本について、また、保護者が遠く離れた場所に住んでいる寮生の生活がどのようなものか、ある程度は理解をすることができますので、できるだけ効果的に仕事ができるようこの経験を生かしていきたいと思っています。私は12年間の看護師経験があり、心理学とビジネスの修士号を取得しています。余暇には、2人の子どもの母親として、さまざまなスポーツ活動や海兵隊の活動にも参加し、とてもアクティブに過ごしています。さて、寮に関する新情報についてですが、現在、英国政府は2022年9月5日から寮に関する新しい基準、"National Minimum Standards for Boarding Schools"（ボーディングスクールのための全国一律基準）を施行予定です。これは、寮を持つ全ての学校が遵守しなくてはならない基準になります。私は、この基準に沿った実践を行うだけでなく、期待されている基準以上のことを実践し、お子さまたちが学園で本当に充実した寮生活を送れるように努力をしていきたいと思っています。その一環として、イギリスのボーディングスクールの精神と、日本の文化とを融合させ、他に例のない優れたボーディングスクールを作る方法について検討しています。具体的には、入寮手続きや日々の寮運営の改善、課外活動プログラムの充実、生徒の皆さんが寮生活をより良くするために、自分たちの考えや意見を共有することを提唱していきたいと考えています。お子さまのことで何かご心配なことや、寮務部と共有したいアイデア等がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

8. 保健室より 

夏休みまであと1ヶ月を切りましたが、学期の疲れが溜まり、保健室で休養をしていく生徒の皆さんたちもチラホラ見受けられます。行事が続いて忙しい毎日ですが、夏休みまでの日々を体調に気を配りながら乗り切ってほしいと思います。保健室では現在、生徒の皆さん一人一人と個人面談を実施しています。面談を通して、それぞれが抱える健康課題に焦点を当てながら、保健室スタッフと一緒に自分自身の健康を考える機会にしたいと思います。また6月下旬には、学校歯科医による歯科検診を実施する予定にしています。

保健室は、6月より、金曜日の夕方から月曜日の朝までを担当する看護師、**Aileen (エイリーン) さん**を迎えました。現役のNHS(National Health Service)の看護師でもあり、長年の豊富な経験を生かして、生徒の皆さんの健康管理を担当します。緑あふれる学園で、生徒の皆さんと一緒に過ごす時間をとても楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\* 今月の一枚 \*\*\*\*\*



晴天の下、笑顔の花が  
たくさん咲きました！



編集後記

日本は梅雨にあたりますが、イギリスでは今が一番いい季節です。生徒達は、中間考査も終わり、気持ちを切り替えて行事準備に励んでいました。(高野)

\*\*\*\*\*